

たすけあい奨学制度の奨学金給付を受けた 卒業生の皆さま対象アンケートのご報告

2023年10月
一般財団法人全国大学生協連奨学財団

大学生協奨学財団では、在学中にたすけあい奨学制度(または勉学援助制度)の給付された方のうち、**2022**年度卒業生**324**名に対してアンケートを実施しました。その結果、**35**名に回答のご協力をいただきました。皆様から大変貴重なご意見をいただきましたので、ここにアンケートの結果をご報告いたします。

☆☆

アンケート目的とその内容

対象者:たすけあい奨学制度及び勉学援助制度の給付された方のうち
2022年度に卒業された方**324**名
(2023年6月に応募時記載の扶養者住所へ送付 8月末回答締切)

◆アンケートの目的◆

- ① 給付を受けた皆様が、卒業されたかどうか進路について把握する
- ② 改めて、当制度へのご意見やアドバイスをいただき、今後に生かす
- ③ 今後、寄付や賛助会員として等の形で応援していただける可能性について伺う

◆アンケートの内容◆

- ① 受給者ご本人のお名前、または扶養者のお名前在学されていた学校名
- ② 受給後の進路
- ③ 扶養者を亡くされた学生に、卒業までのアドバイスやエピソード
- ④ (学業を断念された方)扶養者を亡くされた学生へのアドバイス、学業を断念された理由
- ⑤ 当財団の援助のあり方についてご意見
- ⑥ 今後、寄付または個人賛助会員としてのご支援ご協力の可否
- ⑦ 広報物への利用可否

アンケート結果

アンケートをお送りした 324 名中、35 名の方からご回答をいただきました。
 (回答率は約 10.8%)(ご本人 16 名、保護者 19 名の回答)

そのうち「広報物への利用可」とご回答いただいた 25 名の方について以下記載いたします。
 ※回答について、地名など個人が特定できる箇所についてのみ訂正を行っております

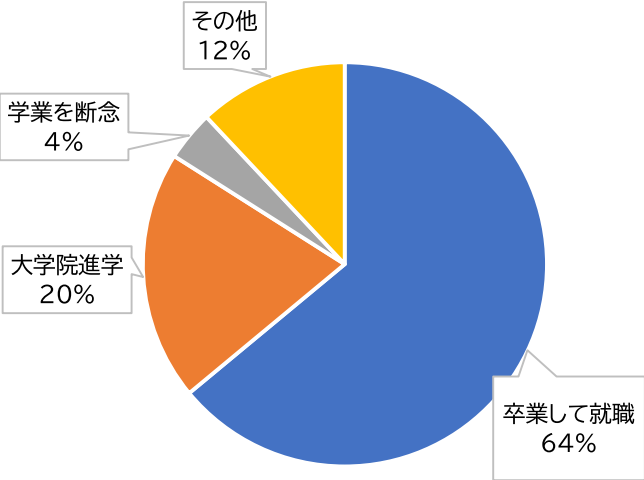
☆☆

<設問> 受給後の進路について

～ ほぼ全員が学業を継続し、就職、大学院などへ進学されました!

8 割以上の方は学業を継続されており、退学された方は1名という結果になりました。
 ほぼ全ての方が、学業を続け、就職や大学院などへ進学されております。当奨学金が学業継続の一助となったことを感じられ、大変嬉しく思います。

受給後の進路について	回答人数
卒業して就職	16
大学院進学	5
学業を断念	1
その他	3



*その他・・・求職中 1 名
 就職したが退職しフリーランス 1 名
 博士課程休学し音楽勉強中 1 名

☆☆

<設問> (学業を断念された方より) 扶養者を亡くされた学生へのアドバイス、学業を断念された理由

◆(お母様よりの回答)
 亡くされた時は心身共に辛いと思いますが時間が優しく癒してくれます。
 焦らずゆっくりと心を落ち着かせ、いつかきっと前を向いて進もうと思うようになります。
 それまで、無理をせず毎日を過ごしてください。うちも数年かかりましたがやっと前を向いて歩けるようになりました。頑張り過ぎないようにお身体を大切にしてください。
 心労が重なり適応障害となり、学校への登校が難しくなり残念ですが断念しました。

<設問> 扶養者を亡くされた学生へ、卒業までのアドバイスやエピソード

皆様より貴重なアドバイスを多くいただきました。

- 「前向きに学生生活を過ごしてほしい」などの励ましの言葉
- 「いろいろな援助制度があるので情報収集を」という制度活用へのアドバイス
- 「時には友人など周囲の人の手を借りることを忘れないでほしい」など周りの力を借りること 等

今、扶養者を亡くされ困っている学生の方にも、当制度をはじめ、ぜひ周りの力を借りていただければと思います。以下、全回答でございます。

～学生ご本人より～

<p>◆ 大学2年生の春、癌で父を亡くしました。高校生の頃から末期の癌を患っていたため、経済的な不安を抱えていました。しかしながら、たすけあい奨学制度を利用させていただいたことで、経済面だけではなく、精神的にも安心して勉学に励むことができ、父の母校の大学を無事卒業、就職することができました。今現在、不安を抱えている皆様、皆様に寄り添ってくださる方々や活動、仕組みは沢山あります。前向きになれる時ばかりではないと思いますが、周囲にどんどん助けを求めて、進んでいってください。応援しています。</p>	<p>◆ 学生でも、学業やアルバイトなど忙しい日々を送っていると思うので自分自身の健康を1番に考え、利用できる援助やサービスには頼ることも大事だと思う。日頃から情報収集しておくといいかも知れないです！</p> <p>◆ 扶養者が亡くなりとても経済的に厳しい状況になりましたが、このような制度があったことで現在は大学院で研究を続けることができます。</p>
<p>◆ 助け合いの奨学制度があったおかげで、どんな悩みや相談ごとがあってもサポートしてくれる、大学に見捨てられないと安心できました。</p>	<p>◆ 給付型奨学金でかなり家計の負担が軽くなりました。成績で申込対象になるので、積極的に学問に取り組むことをお勧めします。</p>
<p>◆ 我が家は幸いにも家計に余裕があり金銭的には逼迫していませんでしたが、それでも精神的に負担がかかっている時に援助をいただけるというのはありがたいことでした。 また窓口の方も落ち着いた声でこちらの心境に配慮した言葉遣いで対応してくださり非常に心地よかったです。</p>	<p>◆ 後悔先に立たずと言うように、もっとこうしてあげられたらと思うことが今もよくあります。思い出せば悲しい気持ちになることもまだありますが、ちゃんと卒業できたよと報告するために頑張りました。</p>
<p>◆ 周囲や制度を頼ってください。時間が解決するまで少しかかるかもしれませんが、それまでに支えてくれる周囲の人や、制度があります。前が向けるようになったら、やりたいことを全力で取り組んでください。</p>	<p>◆ 世の中にはこのたすけあい奨学制度のように万が一の際に助けになる制度があります。私はこの制度のおかげで現在も大学院にて学んでいます。まずはいろいろな制度について知るところから進路決定を考えてみてください。</p>

～保護者の方々より～

<p>◆ 入学年時父親を病気で亡くし金額面で不安がありました。妹の私立高校への入学と重なり母親の収入では通学は困難でしたが、奨学金を給付されると共に本人の頑張りもあり無事卒業し、夢に向かって次の進学へ進むことが出来ました。</p>	<p>◆ 父親を亡くし悲しみの中、気力も失せてしまいがちでしたが、奨学金を頂く事で金銭面はもちろん気持ちの面で大変励みになりました。</p>
<p>◆ 学費は大変だと思いますが、このようなたすけあい奨学制度などで、前向きに学生生活を過ごしてほしいと思います。</p>	<p>◆ やりたい事を絶対諦めない様に。金銭的な事もあるけど 一度しかない人生 今しか出来ない事 どんどんチャレンジするようになっています</p>
<p>◆ 主人と同じ職業を目指し就職活動を始めた矢先に主人が亡くなり本人も辛かったと思いますが無事合格し主人も喜んでくれていると思います。</p>	<p>◆ 父親が亡くなって、精神的にも経済的にも、支柱を失ってしまいました。家族全体が、気が抜けたようになってしまった時、生協の奨学金をもらえることになりました。世の中には、不幸な時に助けてくれる人や組織があるのだということを知って、どれだけ励ましになったかわかりません。気持ちが弱っている時には、優しさが身に沁みます。息子は、無事に大学を卒業することができました。親子共々とても感謝しています。</p>
<p>◆ 心細い事は多々あるかと思いますがそれを乗り切って頑張れる様に周りの方のサポートも有り難く受け入れて頑張ってください。</p>	<p>◆ 大学 3 年の時に父が亡くなり、母は仕事をしていなかったため、この先の生活や学費のことがとても心配でしたが、大学でいろんな支援があることを教えていただき、無事卒業し夢であった教員になることができました。困った時はいろんな支援があるので、ぜひ相談してください。そして支援していただいた方々に感謝して、夢を叶えてください。</p>
<p>◆ 我が家は父親が急な病気で亡くなりました、あまりにも病状が早く進むため、その時どのように対応すべきか判断つかない事がありましたが、とにかくコロナ禍ではあっても会える時に会うことが大切だったと思います。 何度も実家に帰るため交通費が大変でした。</p>	<p>◆ 大学 3 年の時に父が亡くなり、母は仕事をしていなかったため、この先の生活や学費のことがとても心配でしたが、大学でいろんな支援があることを教えていただき、無事卒業し夢であった教員になることができました。困った時はいろんな支援があるので、ぜひ相談してください。そして支援していただいた方々に感謝して、夢を叶えてください。</p>

<設問> 当財団の援助のあり方についてご意見

たくさんの御礼の言葉と共に、当制度の改善点についてもご意見をいただきました。

当制度への御礼の言葉

- ◆ 他の奨学金と比べ早い対応をしていただきよかった。
 - ◆ 当時、別の大学に在学していた妹の分まで気にかけていただきました。本当にありがとうございました。
 - ◆ 学費や学業に専念するための金額としてありがたかった。
 - ◆ 大変 助かりました。ありがとうございました。
 - ◆ 援助していただきとても感謝しております。援助していただく事ができるとは思いませんでしたので、お手紙をいただき良かったと思っています。
 - ◆ 大黒柱を失い、専業主婦だったので授金銭面ですごく助かりました。この制度はとて有り難く、今後も私と同じような親御さん、学生を支援していてもらいたいです。ありがとうございました。
 - ◆ 文句の言いようがなく、素晴らしい制度だと思います。奨学金は学費に充てさせて頂いて、何不自由なく過ごすことができます。
 - ◆ 援助があること自体がありがたかった。
 - ◆ 寄付金の活用方法については夫の残してくれたものでは足りなかった学費の一部としてありがたく活用させて頂きました。審査の流れについては全ての学生が受けられるものではない、と考えまして、簡単過ぎる位に感じております。
- 金額につきましては、当時はたとえ一万円でも疎かに出来ない状況でしたが、その後、私自身が就労出来ましたので大変有り難く満足、感謝致しております。ただ残った親が働けないような状況の学生さんの事を考えると胸が痛みます

審査について

- ◆ 手続きは割と分かりやすかったかと思えます。学費補助金はとても助かりました。
- ◆ 手続き等教えていただき、給付もとても早かったので助かりました。とてもよい仕組みだと思えました。
- ◆ 金額は生活を支えたり、学費を賄えるだけの額ではありませんが、申し込み方法は難しくなく、スムーズにいただけだったので、ありがたかったです。
- ◆ とにかくわかりづらく大変でした。

改善点

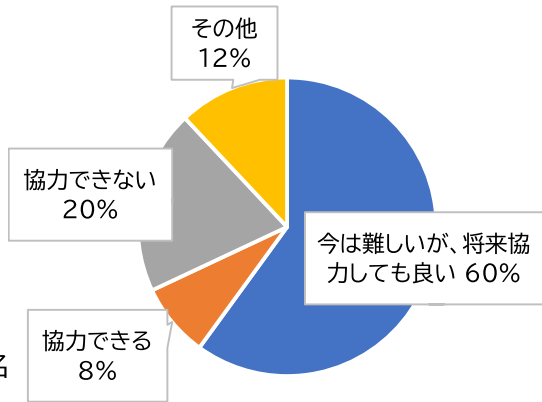
- ◆ 学費の一部として活用させて頂きました。もう少し金額を上げて頂けるとありがたいと思えます。
 - ➔ 当奨学制度は寄付金・賛助会費によって成り立っておりますので、金額面でより充実させるよう努めてまいります。充実させることに伴い、将来的には奨学制度への改正へとつなげたいと思えます。
(ご指摘いただきました、1人あたりの給付金額を上げる、給付対象となる学生を多く増やす 等)

☆☆

<設問> 今後、寄付または個人賛助会員としてのご支援ご協力の可否

～ 約 7 割の方から今後寄付・個人賛助会員としてのご協力へ前向きなご回答をいただきました

受給後の進路について	回答人数
今は難しいが、将来協力しても良い	15
協力できる	2
協力できない	5
その他	3



* その他・・・現在進学中の為、将来できるようになれば。1名
今は今後のことは分かりません。1名
今は出来てもこの不景気に毎年継続して寄付できる自信がない。1名

寄付または個人賛助会員(毎年 1 口 500 円からの寄付を行う会員システム)としてご協力いただくことへ前向きなご回答を下さりありがとうございます。当制度の奨学金を受給し、頑張って学業を続けられた皆様にご協力いただけることは、「たすけあい」の意味でも、扶養者を亡くされた後輩にとって大きな力になっていただけたと思います。

☆☆

以上が 2022 年度卒業生(その保護者)の皆さまからいただきましたアンケート結果でございます。(こちらの内容は大学生協奨学財団 HP 内ページ「[卒業生からのメッセージ](#)」にも掲載しております)

あらためまして卒業生とその保護者の皆さまには、アンケート回答にご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後の当制度のあり方などの参考にさせていただきます。

問い合わせ先
大学生協奨学財団事務局 堀池・広瀬・石塚
Mail : zaidan.jimu@univ.coop
電話 03-5307-1126(平日 10:00～16:00)